

ドノ ル ク 樹皮などあらゆる可燃物を燃料に

省エネリサイクルボイラー

ワテ

小型・中型焼却炉などを主力に手がけるワールドテクノ（広島市、神垣茂社長、☎082・927・4048）は、省エネ推進を追い風にリサイクルボイラーの販売を強化している。

木くずを自動投入できる貫流式の「RV型ボイラー」は、大口径水管使用により、保有水量が大

きく、あか溜まりにも有用で対水質性の種類が広く、肉厚パイプを使用しており寿命が長い。貫流ボイラーの欠点とされる圧力負担の問題も缶水容量を倍加することにより急激な負担に強く、特殊

考案による水位調整器を装備し、飽和蒸気より乾き度を増した（水分の少ない）乾燥蒸気まで自由にその性質を選定することができるとができる。焼却室はキヤスター築炉の加熱保護をしており、起蒸時間10分、熱効率70%以上と非常に高いことなどが特徴。

上部より樹皮や木質チップなど多量に投入できる「RG型ボイラー」は、逆燃ガス化方式を採用。投入物は、上部より徐々

に乾燥させて、燃焼室に

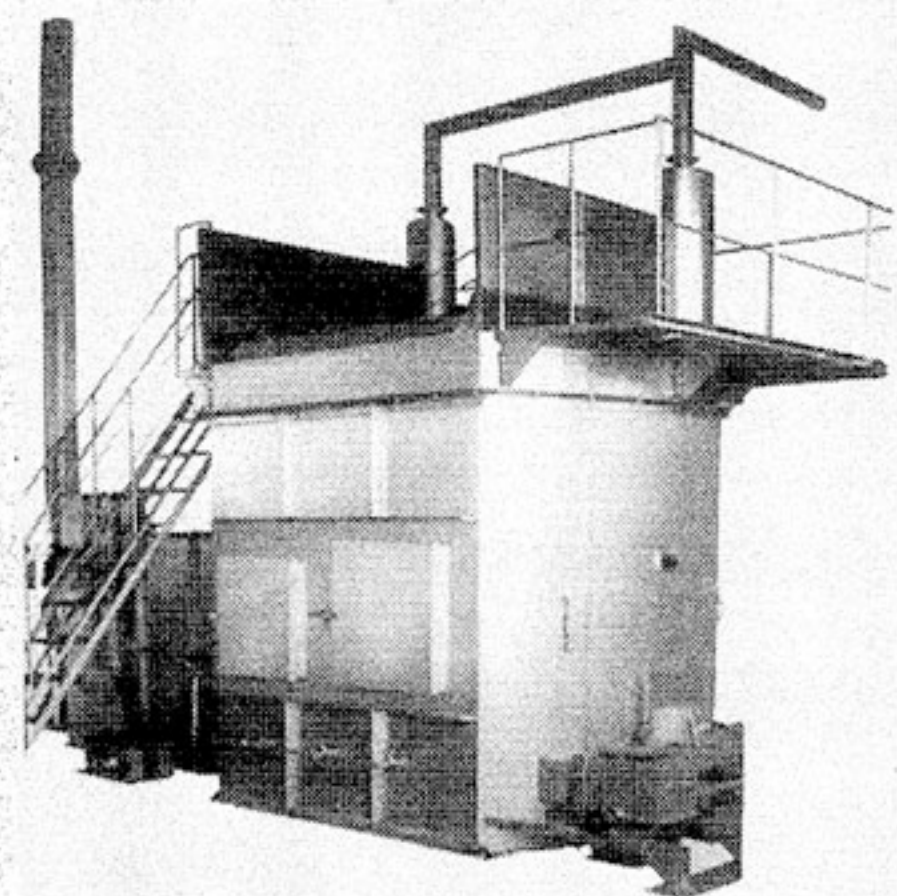
落下させていくので、水分を多く含んだ樹皮に適している。燃焼は、投入量に関係なく安定しており完全燃焼、 NO_x の発生量が非常に少ない。燃焼ガスが、高温のおき火、灰の中を通過するため燃

焼がよく、黒煙、灰がない。少エネ用、無公害炉として利用できる。

両ボイラーとも燃料は、樹皮、木くず、チップ材などあらゆる可燃物に対応し、1時間当りの蒸気発生量は、2000〜20000キログラムとなっている。蒸気は、木材乾燥機や工場・ハウスの暖房、発電設備などに有効活用できる。

ユーザーの用途に合わせて各5タイプ取りそろえており、価格は15000〜50000万円。納入実績は西日本中心に約200台ある。営業所は、金沢・奈良・滋賀・福山・福岡・南九州と拠点を置き、年間目標15台を掲げ

拡販していく。



逆燃ガス化方式の「RG型ボイラー」